

生物多様性センター施設案内

展示室

図書資料閲覧室

エントランスホール

展示ロビー

受付

入口

図書資料閲覧室

当センターが収集・保管している自然環境保全基礎調査をはじめとする各種の報告書や資料を閲覧できます。

生物多様性センターは、日本の自然の姿を全国レベルで調査し、その成果をウェブサイトなどで広く提供している環境省の機関です。

また、日本の自然や生物多様性についてみなさんにわかりやすく伝える展示を行っています。そして、これらの活動を通じて、わが国の生物多様性の保全に寄与します。



利用案内

- 開館時間 午前9時～午後5時
- 休館日 冬季期間（12月～4月）の土曜日、日曜日、祝日
年末年始（12月29日～1月3日）
- 入館料 無 料
- 団体で利用される場合は事前にご連絡をお願いします。
- 図書資料のご利用は平日のみになります。
なお、図書資料の貸出は行っておりません。

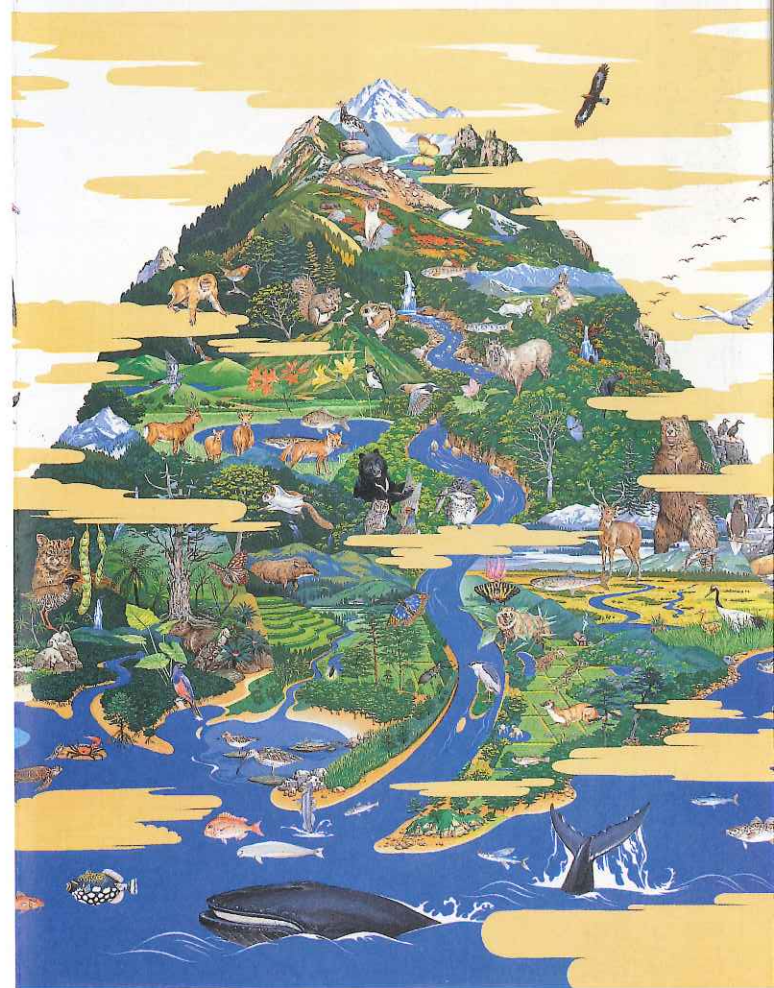
交通案内

富士急行河口湖駅または中央高速バス河口湖駅下車、タクシーで約15分
中央自動車道河口湖ICまたは東富士五湖道路富士吉田ICより約10分
(富士スバルライン沿線)



生物多様性センター
Biodiversity Center of Japan

〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田剣丸尾5597-1
TEL 0555-72-6031(代表) FAX 0555-72-6032/6035
E-mail webmaster@biodic.go.jp
URL <http://www.biodic.go.jp/>



マスコットキャラクター
『ズック』

展示室ガイド

生物多様性センターでは
生物多様性に関する
クエスチョン
「？」
へのヒントが詰まった
展示室を設けています。
さあ、あなたもここを訪れて
生物多様性を探る扉をあけて
みましょう。



生物多様性の 大切さに ついて考えてみよう

- 映像シアター
- ①「たくさんのいのちを
はぐくむ国・日本」
(上映時間約12分)
- ②「生きものたちがともに築いた
みんなの地球」
(上映時間約5分)

映像シアターでは、三面マルチスクリーンを使って日本の自然環境と生物多様性の豊かさと大切さを伝えるとともに、私たちと自然がどのような関係を結んでいけばよいかを問いかけます。

生物多様性は どこまでわかって いるのか？

- 見てみよう自然環境保全基礎調査
- 生物多様性センターの事業

日本の自然環境と生物多様性を把握するために生物多様性センターが行っている調査をパネルや映像で紹介。見てみよう自然環境保全基礎調査では、自然環境保全基礎調査で得られた情報を日本地図上に表示します。

生物多様性を 守るためにどのような 取り組みが行われているのか？



- 生物多様性基本法
- 様々な主体による取り組み
- 環境省の取り組み
- 生物多様性はどうして大事なの

生物多様性を守るための仕組みや、国や自治体、民間団体などによる様々な取り組みをパネルで紹介しています。最後に身近にある生物多様性からの恵みを感じ、生物多様性を守るために何ができるか考えてみましょう。

生きものどうしや、生きものと環境とのつながり、生物多様性の4つの危機から環境を守るためにできることを、ゲームや解説パネルを通して考えてみましょう。

生物多様性に 何が起きているのか

- 生物多様性の4つの危機
- 生きものをつなぐリフィールド



日本の生きもので遊ぼう

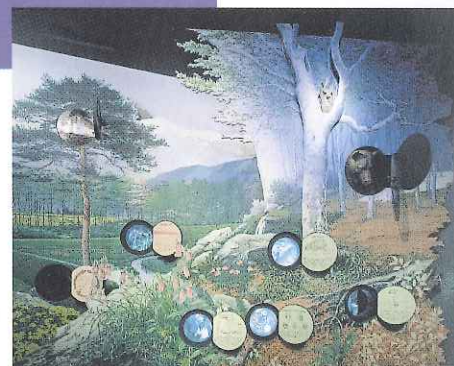
- 『みんなにほんのいきもの』
日本各地に住んでいる動物たちのぬいぐるみには自己紹介が書いてあり、手にとって遊ぶことができます。

生物多様性から どのような恵みを 受け取っているのか？



- 生物多様性ってどんなこと？
生物多様性には3つのレベルがあり、しかけをめくると説明が書かれています。また、生物多様性から受けることのできるオトクな情報を紹介しています。

生物多様性とは 何か？



- 日本の森ようこそ
- 釧路湿原の生態系
- 日本アルプスの生態系
- 南西諸島の生態系

案内役のツキノワグマとオオコノハズクに導かれ、日本の自然のパネルに隠された小さな扉をあけると多様な生きものが織りなすドラマが展開します。



展示室

生物多様性の つながり



- つながりんぐ

日本列島の生物多様性のつながりを表現した絵巻です。北海道から沖縄までの300種類以上の動植物とそのつながりを表現しています。あなたの知っている生きものは何種類いるでしょうか？